

小型家電等収集管理システム 導入可能性調査について

1. 調査の目的

2. 調査の概要

3. 小型家電等の拠点回収場所

4. 事業費・補助金

5. 事業スケジュール

1. 調査の目的

現状の回収システムの課題

小型家電

拠点回収とピックアップ回収を実施しているが、拠点回収の回収量はわずか

プラスチック容器類

ペットボトルの混合収集により、リサイクル率が低い

プラスチック製包装類

可燃ごみとして混合収集しており、焼却処分している

IoTを活用した新技術導入(回収効率の改善)

回収システムの改善

小型家電

拠点回収場所(回収ボックス設置数)の増加による回収量の増加とピックアップ回収での作業負担の低減を図る

ペットボトル
プラスチック容器包装類

回収ボックスの新規設置による拠点回収により、リサイクル率の向上を図るとともに、可燃ごみからプラスチック製包装類を分別収集し、焼却時のCO2排出量の削減を図る

2. 調査の概要

○拠点回収による実証実験の実施

- ①小型家電→拠点回収場所の拡充(6箇所→12箇所程度)
- ②ペットボトル、プラ容器包装類→拠点回収場所の新設(12箇所程度)

○管理システムの導入

- ①廃棄物保管量が測定できるIoTセンサー及び通信環境の整備
 - ・IoTセンサーによるリアルタイム廃棄物貯留量把握
 - ・無線通信
 - ・最適ルートを表示
 - ・Webブラウザでの表示
 - ・情報管理

○管理システム実証実験による効果調査・導入可能性(F/S)の検討

- ①CO2削減効果
- ②循環型社会の形成推進に資する効果

○舞鶴市IoT技術導入検討委員会(仮称)の設置・運営

- ①外部有識者等からの意見聴取

3. 小型家電等の拠点回収場所

○小型家電拠点回収場所の拡充

既存回収場所6箇所

- ①東図書館
- ②市役所
- ③中央公民館
- ④西図書館
- ⑤西支所
- ⑥加佐分室



6箇所新設(計12か所程度)

- 状況等を考慮し、
6箇所程度新設
- ・既存回収場所
 - ・収集量
 - ・人口分布
 - ・公共施設・マイリサイクル店の位置関係等



○ペットボトル・プラ容器包装類 拠点回収場所の新設

- ・小型家電回収場所と同じ場所への新設検討
(状況によっては、別の場所への設置を検討)
- ・ペットボトルとプラスチック容器包装類の
2種類の回収ボックスを新設



4. 事業費・補助金

事業費

■ 19,975千円(予定)

※ 平成30年9月議会に補正予算を提案

補助金

- ① 補助事業名 平成30年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
(地域循環圏・エコタウン低炭素化促進事業)
- ② 補助率 10/10
- ③ 補助金上限 2,000万円
- ④ 補助事業者 公益財団法人廃棄物・3R研究財団
(環境省補助金の間接補助団体)

5. 事業スケジュール

- H30.7.25 交付申請
(二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金)
[地域循環圏・エコタウン低炭素化促進事業]
- H30.8.15 交付決定
- H30.10.1 広報まいつるで事業実施の市民周知
- H30.10.3 補正予算議決予定(9月議会)
- H30.10～
H31.2 事業の実施
(拠点回収場所からの収集運搬等)
- H31.3 実績報告

※来年度以降は未定

(拠点回収のみ既存の事業費の中で実施することも検討)